

## J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（令和4年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下15 J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。）」では、農業と地域社会に貢献するため、2022～2024年度 J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

令和4年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

#### （J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取り組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っております。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

令和5年3月末時点の J Aバンク埼玉の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は13,563百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は9,073百万円を取り扱っております。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

#### 【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	令和5年3月末現在
農業	
穀作	2,929
野菜・園芸	5,121
果樹・樹園農業	554
工芸作物	436
養豚・肉牛・酪農	1,656
養鶏・鶏卵	203
養蚕	—
その他農業	2,641
農業関連団体等	20
合 計	13,563

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれております。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和5年3月末現在
プロパー資金	11,369
農業制度資金	2,194
うち農業近代化資金	2,039
うちその他制度資金	154
合 計	13,563

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、農業制度資金以外のものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

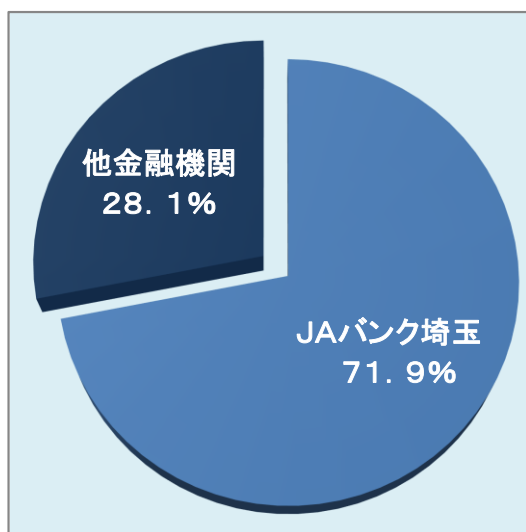
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和5年3月末現在
日本政策金融公庫資金	9,073
そ の 他	—
合 計	9,073

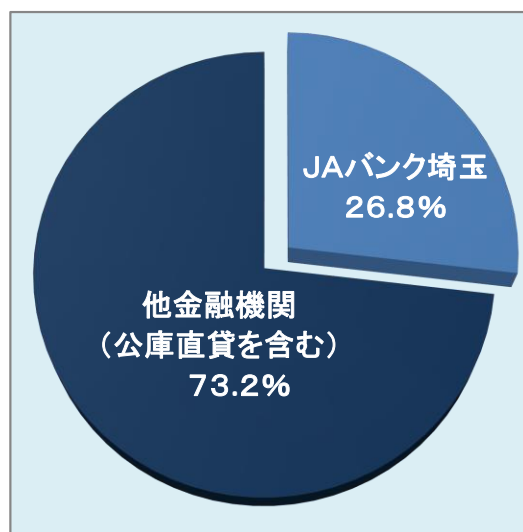
JAバンク埼玉は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいて、高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫農業資金の残高シェア】

農業近代化資金  
(令和4年12月末時点)



公庫農業資金  
(令和5年3月末時点)



## (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内15 J A及び信連の本店に、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計30名配置しております(令和5年4月1日時点)。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的として、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内では887名が取得しております(令和5年3月末時点)。

なお、J Aバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となり、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築し、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

## (3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しております。

### 【具体的取組事例】

#### 〈農業資金相談会の開催〉

担い手への対応力強化及び農業資金のPRのため、J A・信連・日本政策金融公庫の共催により農業資金相談会を実施しました。

〈令和4年度相談会開催実績〉

J Aさいたま：7日間、J Aあさか野：2日間、J A埼玉中央：6日間、  
J Aちちぶ：2日間、J A埼玉ひびきの：12日間、J Aくまがや：4日間、  
J Aふかや：2日間、J Aほくさい：2日間、J A南彩：1日間

(4) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

JAバンク埼玉は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と業界の架け橋」として多様な機能を発揮しております。

【令和4年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日程	主催者	参加団体数	商談件数 (問合せ含む)
JAグループさいたま 農畜産物オンライン商談会 2022	令和4年10月3日 ～ 令和4年11月25日	信連 全農さいたま	47団体	119件

〈JAグループさいたま農畜産物オンライン商談会2022〉

出展者・商品一覧

**参加無料**

**バイヤー参加登録受付中!**

※スマートフォンからお申込みいただけます。

<https://form.run/@jasaitama-buyerentry2022>

利用QRコード

(主催) JAバンク埼玉信連 / JA全農さいたま (共催) 埼玉県内JA / JA埼玉県中央会 / JA共済連埼玉 (後援) 埼玉県 / 農林中央金庫

## 2 担い手の育成・経営等に係る支援

J Aバンク埼玉は、担い手をサポートするため、次の取り組みを行っております。

### (1) 新規就農者の支援

J Aバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っております。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	令和4年度 実行件数	令和4年度 実行金額	令和5年3月末 残 高
青年等就農資金	30	252.4	1,177.3
就農支援資金	-	-	16.8
そ の 他	-	-	-
合 計	30	252.4	1,194.1

### (2) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた相続セミナーを例年開催しております。コロナ禍以降においては、感染拡大防止の観点から対面開催は減少傾向となっておりますが、円滑な資産承継をサポートするため、相続・遺言個別相談会を実施し、一人ひとりのお悩みや想いを伺いながら、その解決と実現に向け丁寧なご提案を行っております。

講演会名	主催者	参加人数	講演内容
相続セミナー	J A あ さ か 野	29名	題目：相続事例・貸貸市場動向
	J A あ さ か 野	16名	題目：資産運用・相続対策
	J A 埼 玉 ひ び き の	18名	
個別相談会	J A あ さ か 野	5名	
	J A 埼 玉 中 央	3名	
	J A 埼 玉 中 央	3名	
相続遺言セミナー	J A 埼 玉 み ず ほ	34名	
合計	4 J A	108名	

### (3) 災害等の被害を受けた方への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等が発生し、農業者等の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。  
(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
資材価格高騰に伴う農業経営支援対策資金の対応	J Aあさか野	原油価格高騰に伴い、農業経営に必要な資材購入費に迅速に対応することを目的として、無利息・無担保の独自商品での対応を実施。	1	3
新型コロナウイルス感染症対応資金特別要領の継続実施	J A埼玉中央	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた農業経営の一時的な悪化に対応し、農業経営の維持や再開に資することを目的に実施。(農中・信連の助成を活用)	0	0
アグリマイティー資金 災害緊急資金	J A埼玉 ひびきの	コロナウイルスで被害を受けた農業者様を対象に最大1%の利子補給が行われる低金利での融資を実施。	4	3
令和4年降雹災害資金	J A埼玉 ひびきの	降雹で被害を受けた農業者様を対象に最大0.8%の利子補給が行われる低金利での融資を実施。	24	66
令和4年降雹災害資金	J A埼玉 ひびきの	降雹で被害を受けた農業者様を対象に農協独自に当初3年間の金利を0%、3年以降の金利を軽減した融資を実施。	69	264
平成26年大雪災害対策 特別資金	J Aくまがや	平成26年2月14日から15日の大雪により、農産物および農業用設備に被害を受けた組合員に対して、営農と生活に必要な資金を支援し、農業経営の安定を図ることを目的として実施。	30	57.8
農業災害資金	J Aくまがや	天災等の不慮の災害により被害を受けた農業者に対し、当組合が農業経営を維持安定させるために必要な低利の経営資金を迅速に融資し、災害の復旧と経営基盤の安定を図ることを目的として実施。(元々資金自体は存在したが、令和2年4月よりコロナでの被害も対応とした)	3	5
降雹被害に伴う優遇金利	J Aふかや	降雹被害で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、借入者負担軽減措置とし農業資金(災害用)の金利軽減を実施。	7	23
合 計			138	421.8

#### (4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

#### 【令和4年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位：先数)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先①		-	-		-	-	
要 注 意 先	うち その他要注意先②	-	-	-	-	-	-
	うち要管理先③	-	-	-	-	-	-
破綻懸念先④		1	-	-	1	-	-
実質破綻先⑤		1	-	-	1	-	-
破綻先⑥		-	-	-	-	-	-
小計(②～⑥の計)		2	-	-	2	-	-
合計		2	-	-	2	-	-

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和5年3月末時点のものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

#### (1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

#### 【令和4年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	令和4年度 実行件数	令和4年度 実行金額	令和4年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	0
その他	1	3	6
合計	1	3	6

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

#### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っております。

##### (1) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校へ、76, 297セット配布され、学校の授業等において活用されております。また、特別支援学級を扱う小学校8校及び特別支援学校10校へ505セット配布いたしました（令和4年度実績）。

また、県下J Aでは、食農教育などの地域貢献活動に取り組んでいます。

##### 【J Aバンク食農教育応援事業等による活動内容】

取組事例	J A名	内 容	取組時期
地域利用者への ドライブラリー の開催	JA あさか野	組合員向けに収穫体験を通じてJA および農業への理解の醸成、地元農産物の地産地消を目的に『収穫体験ドライブラリー』を開催。 参加者 31 名	R4. 9. 25
地域利用者への ドライブツアー の開催	JA あさか野	組合員向けに収穫体験を通じてJA および農業への理解の醸成、地元農産物の地産地消を目的に『収穫体験ドライブツアー』を開催。 参加者 128 名	R5. 2. 23
農機具展示会開 催	JA あさか野	農機具展示会開催時に、農業資金相談担当者による相談対応を実施。 (6/25 来場者 110 名、11/26 来場者 61 名)	R4. 6. 25 R4. 11. 26
管内行政と「空 家の有効活用等 促進に関する協 定書」締結	JA あさか野	新座市では適正に管理されていない空家が増加しており、所有者から空家の利活用や解体工事に関する相談が増加していることから、市内の金融機関と協力し、資金面などの相談窓口となる取組みを実施。	R4. 12. 19～
女性部支部活動	JA あさか野	各支部においてヨガ教室、パークゴルフ、陶芸教室、ノルディックウォーキング、手芸教室などを開催。	通年
管内行政と「災害 時における応急生 活物資供給等の協 力に関する協定 書」締結	JA あさか野	自然災害の発生時における人的・物的支援などの支援体制の構築を目的とし、行政と協定書を締結。	通年
管内行政とフー ドロロス削減を目 的に協定書締結	JA あさか野	地域福祉の推進とフードロス削減を目的に行政と協定書を締結。	通年
スマート農業普 及にかかる担い 手支援	J A埼玉中央	スマート農業の普及に向けて農機メーカー等と連携し、農機展示会を実施。各種助成事業の活用も含めた担い手の資金調達相談への対応を図った。	R4. 4. 23 R4. 10. 29



取組事例	J A名	内 容	取組時期
農作業事故ゼロ運動による女性農業者支援	J A埼玉中央	農作業事故防止対策としてJ A埼玉中央女性部及び農機メーカーと連携し、女性向け農業機械取扱い説明講習会を実施。	R5. 3. 7 AM・PM R5. 3. 8 AM
こども食堂農業体験	J Aふかや	こども食堂利用者 19 世帯 61 名の親子にて、ジャガイモ播種作業を行い、農業・食の大切さについての農業体験会を実施。	R4. 3. 5
パパママ応援ショップへの協賛	J Aほくさい	平日に直売所で米を購入する場合、5%引き、定期貯金、定期積金の1年物において、店頭表示金利 20 倍での対応を実施。	R4. 4~R5. 3
農業資金相談会	J Aほくさい	農業資金相談会の開催。 (年 2 回、JA ほくさい本店にて)	R4. 8 R5. 1
田植え、稲刈り体験	J Aほくさい	田植え、稲刈り体験	R4. 5 月上旬

以上